

日本中国学会会報

NIPPON CHŪGOKU GAKKAI

1998年(平成10年)

11月25日

第2号

〒113-0034 東京都文京区湯島1-4-25 斯文会館

TEL 03-3251-4606

FAX 03-3251-4853

日本中国学会創立五十年記念大会の開催

理事長 戸川芳郎

このたびの本学会創立五十年記念大会が、早稲田大学の大会準備会（代表 福井文雅評議員）関係学会員の献身的なお力により、めでたく終えることができましたことに、深く感謝いたします。

平成十年十月十日の、第一日には大隈講堂に、裘錫圭教授 K.M.SCHIPPER教授をお迎えし、わが学会の国際交流の緊密さをつよく感じさせる記念講演をいただき、第二日の、例年の半数にかぎられた会員の研究発表ではありましたが充実した内容が居多でありました、のとともに五十年を記念するにふさわしい学術大会となったことを、お喜びする次第であります。

そして、この大会にあわせて進められた記念事業としての、学会史『日本中国学会五十年史』と『日本中国学会創立五十年記念論文集』（汲古書院）の編刊については、ともども記念大会の当日までに完成をみました。これまた記念事業委員会（委員長 佐藤保理事）関係委員のご尽力にかさねて謝意を表します。

また、本記念事業のために、学会会員はじめ内外から寄せられた献金へのご支援に対しまして、年末の決算報告にさき立ってですが、厚くお礼申し上げます。

さて、今回の大会総会においては、理事会の提出しました「学会会則の一部改正（案）」について決議に至らず、大会議長の裁定により、藤井省三会員より提出の「修正案」と原「案」とを並列して、学会員に提示し、次回総会で通信による投票をふくむ方法によって、その両案の採否を会員に問うこととなりました。

この裁定にもとづいて臨時理事会（11月15日）を開いて両「案」の若干の修改をふくむ案文内容を確認し、「臨時総会」の案内（一投票による両「案」の採否を問う）を会員あてに行うこととなりました。12月上旬には、両「案」を提案趣旨を付して、各会員にお届けする準備中であります。

ただし、今総会において、「修正案」の討議のなかで、その「案」に盛りこまれていました学会年会費の値上げについて、総会会場からの緊急提案により「修正案」とは切り離して、現「会則第8条」の改正—会費年額5000円を平成11年度より7000円に改める、を可決しました。いま、その折に総会に配布しました資料「会費値上げの積算根拠」を同封することとします。会員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

五十年の制度疲労とは申せ、今回の学会員の改革へのご熱意に接し、本学会の強靱さにいまさらながら感じ入った次第であります。

10月10日の総会における決定事項及び諸報告は次の通り。

【議決事項】

- (1)平成10年度事業計画は承認されました。
- (2)「会則第8条」改正により、「会費年額5000円」が「会費年額7000円」となり、平成11年度より学会費値上げとなりました。
- (3)次年度の大会開催校は、関西大学（平成11年10月開催予定）に決定しました。

【諸報告及び関連事項】

- (1)平成10年度の選挙管理委員は、次の各氏に委嘱されました。（*は重任）
 - （理事） *竹田晃（委員長）
 - （評議員） *高橋均・*望月真澄
 - （一般会員） *岩本憲司・薄井俊二・*江上幸子・垣内景子・*佐藤正光
- (2)『学会報』第51集の編集担当校は、京都大学（責任者は興膳宏会員）に委嘱されました。第51集の〈学会消息〉欄の原稿は、記入責任者から京都大学文学部中国文学研究室（〒606-8317 京都市左京区吉田本町）宛にお送り下さい。資料は平成10年1月から12月までのものとします。

『学会報』第51集の〈学界展望〉執筆校は以下の通りです。

哲 学 大東文化大学文学部中国文学研究室・代表：倉田信靖会員
 （〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1）

文 学 筑波大学文芸・言語学系中国文学研究室・代表：向嶋成美会員
 （〒305-8571 つくば市天王台1-1-1）

語 学 東京都立大学人文学部中国文学研究室・代表：佐藤進会員
 （〒192-0364 八王子市南大沢1-1）

著書及び論文抜刷などの資料を平成11年 1月末日までに上記各研究室宛お送り下さい。掲載資料は平成10年1月から12月までのものとします。

〈学界展望〉につきましては、資料現物の送付とは別に、会員各自同封の用紙（二種類あり）により自己申告していただくことになっております。申告なさる方は、用紙に記入の上、同封の封筒を利用して明年 1月末日までにご返送下さい。郵送費は各自ご負担願います。なお、申告が無い場合は、掲載漏れとなることがありますのでご注意ください。また、研究論文目録として掲載不相当と思われるものは、執筆担当校の判断で割愛されることもあります。

- (3)『学会報』の掲載論文公募について

締切日 平成11年 2月10日（当日消印有効）

枚 数 本文・注・図版等あわせて400字詰原稿用紙55枚以内

要 旨 400字詰原稿用紙5枚以内を添付する。

応募者は『日本中国学会報』巻末の〈論文執筆要領〉を遵守して下さい。（原稿は必ず郵送のこと。本部持込みは受理しません。）尚、投稿原稿は返却致しません。

(4) 本年度の日本中国学会賞は、以下の会員が授賞されました。

哲学部門 該当者なし
文学部門 和田英信会員（お茶の水女子大）

理事長より賞状と賞金（8万円）が贈られました。

(5) 下記の日程で日本学術会議哲学系公開シンポジウム「転換期における人間」が開催されます。当学会から池田秀三会員が推薦され、提題者として講演されます。奮って御参加下さい。

日時 平成10年12月8日（火）午後1時～5時

会場 日本学術会議大会議室（東京都港区六本木7-22-34 Tel.03-3403-6291）

(6) 下記の日程で日本学術会議語学文学研連主催シンポジウム「出版文化を考える」が開催されます。当学会から松岡榮志会員が推薦され、提題者として講演されます。奮って御参加下さい。

日時 平成10年12月18日（金）午後1時30分～4時

会場 斯文会館（東京都文京区湯島1-4-25 Tel.03-3251-4606）

訃 報

第49回学術大会以後、次の13名の会員が逝去されました。

石川清之（関東）	石川力山（関東）	大野峻（関東）	栗田直躬（関東）
清水 登（関東）	前野直彬（関東）	柳瀬喜代志（関東）	沼尻正隆（関東）
入矢義高（近畿）	小島憲之（近畿）	小林清市（中四国）	竹治貞夫（中四国）
越智重明（九州）			

総会の席上、上記の方々に対し黙祷が捧げられました。

◎会費納入について

会費未納の方には振替用紙を同封致しますので、至急ご送金願います。なお、数年にわたって未納の方は特にご注意願います。4年にわたって滞納されますと除名となります。

（郵便振替口座：00160-9-89927）

◎『学会報』送付停止について

平成9年度会費未納の方には『学会報』を送付致しません。会費納入が確認され次第、送付いたします。また、納入の際には、振込用紙裏面に未送付の『学会報』の号数をご注記下さい。

◎住所変更について

住所・所属機関等の変更は速やかにご通知下さい。通知は書面もしくはFAXにてお願いいたします。電話および会費振込用紙でのお届けはご遠慮ください。

日本中国学会 平成9年(1997年)度収支決算書

(単位=円)

収入の部	科目	予算	決算	摘要	△は減
	1. 前年度繰越		1,238,574	1,238,574	
2. 会費会費		9,300,000	9,545,391	会費滞納者を含む1,687人納入	245,391
3. 文部省刊行助成金		490,000	490,000		---
4. 寄付金		640,000	1,131,000		491,000
5. 預金利息		10,000	6,260		▽ 3,740
6. 基金解約		1,000,000	1,000,000		---
合計		12,678,574	13,411,225		

支出の部	科目	予算	決算	摘要	△は増
	1. 総務費		2,204,000	2,188,930	15,070
(1) 印刷費		450,000	358,890		91,110
(2) 通信費		750,000	691,080		58,920
(3) 交通費		60,000	81,550		△ 21,550
(4) 消耗品費		450,000	432,828		17,172
(5) 庶務処理費		200,000	200,000		0
(6) 雑費		150,000	244,582	会費返還を含む	△ 94,582
(7) 業務委託料		144,000	180,000	斯文会	△ 36,000
2. 人件費		1,580,000	1,435,000	145,000	
(1) 幹事手当		780,000	780,000	30,000/月 + 慰労金	0
(2) 謝金		800,000	655,000		145,000
3. 会議費		1,750,000	2,334,558	△ 584,558	
(1) 会議費		550,000	639,908		△ 89,908
(2) 役員旅費		1,200,000	1,694,650		△ 494,650
4. 事業費		5,800,000	5,505,843	294,157	
(1) 学会報等刊行費		4,900,000	4,605,843		294,157
イ 印刷費		3,500,000	3,388,350		111,650
ロ 編集費		750,000	750,000		0
ハ 翻訳謝金		150,000	150,000		0
ニ 発送費		500,000	317,493		182,507
(2) 学術大会運営費		600,000	600,000		0
(3) 委員会等運営費		300,000	300,000		0
5. 予備費		844,574	-		---
6. 創立記念事業積立金		500,000	500,000		0
7. 次年度繰越金		-	1,446,894		---
合計		12,678,574	13,411,225		

学会基金

基本金	4,300,000	基本金	4,300,000	備考
前年度繰越金	555,388	日本中国学会賞	160,000	
普通預金利息	32,713	次年度繰越金	434,901	佐藤基金 200,000
信託収益金	6,000			池田基金 300,000
合計	594,901	合計	594,901	伊藤基金 300,000
				積立基金 3,000,000

創立五十年記念事業積立金

平成8年度迄	4,000,000
平成9年度積立金	500,000
合計	4,500,000

上記の通り相違ないことを認めます。
平成10年4月11日

日本中国学会監事 池田知久 村山吉廣 印省略

日本中国学会 平成10年(1998年)度収支予算(案)

収入の部	科 目	予 算	前年度決算	摘 要
	1. 前年度繰越	1,446,894	1,238,574	会費滞納者を含む1,700人納入見込み
2. 会員会費	9,500,000	9,545,391		
3. 文部省刊行助成金	490,000	490,000		
4. 寄付金	700,000	1,131,000		
5. 預金利息	6,000	6,260		
6. 基金解約	-	1,000,000		
7. 著作権料分配金	100,000	-		
合 計	12,242,894	13,411,225		

支出の部	科 目	予 算	前年度決算	摘 要
	1. 総務費	1,840,000	2,188,930	斯文会
(1) 印刷費	400,000	358,890		
(2) 通信費	750,000	691,080		
(3) 交通費	60,000	81,550		
(4) 消耗品費	100,000	432,828		
(5) 庶務処理費	200,000	200,000		
(6) 雑費	150,000	244,582		
(7) 業務委託料	180,000	180,000		
2. 人件費	1,790,000	1,435,000	40,000/月 + 慰労金	
(1) 幹事手当	1,040,000	780,000		
(2) 謝金	750,000	655,000		
3. 会議費	2,100,000	2,334,558		
(1) 会議費	400,000	639,908		
(2) 役員旅費	1,700,000	1,694,650		
4. 事業費	5,350,000	5,505,843		
(1) 学会報等刊行費	4,650,000	4,605,843		
イ 印刷費	3,400,000	3,388,350		
ロ 編集費	750,000	750,000		
ハ 翻訳謝金	150,000	150,000		
ニ 発送費	350,000	317,493		
(2) 学術大会運営費	600,000	600,000		
(3) 委員会等運営費	100,000	300,000		
5. 予備費	662,894	-		
6. 創立記念事業積立金	500,000	500,000		
7. 次年度繰越金	-	1,446,894		
合 計	12,242,894	13,411,225		

日本中国学会特別会計 五十年記念事業等予算 (案)

収入の部	科 目	予 算	摘 要
	1. 五十年記念事業基金	4,500,000	平成6年度よりの積立総額
2. 平成10年度積立金	500,000		
3. 五十年記念事業募金	5,000,000		
4. 学会基金解約	-		
5. 利息	30,000		
6.			
	合 計	10,030,000	

支出の部	科 目	予 算	摘 要
	1. 総務費	950,000	平成9年度執行分を含む 振込手数料を含む
(1) 会議費	100,000		
(2) 旅費	600,000		
(3) 記念論集等発送費	200,000		
(4) 雑費	50,000		
2. 記念行事小委員会	1,400,000	平成9年度執行分を含む	
(1) 委員会運営費	400,000		
(2) 記念大会運営費	1,000,000		
3. 記念論集編纂小委員会	3,400,000	平成9年度執行分を含む	
(1) 委員会運営費	400,000		
(2) 記念論集刊行に関する費用	3,000,000		
4. 学会五十年史編纂小委員会	2,700,000	平成9年度執行分を含む	
(1) 委員会運営費	400,000		
(2) 学会五十年史刊行費	2,300,000		
5. 日本中国学会概要編纂小委員会	170,000	平成9年度執行分を含む	
(1) 委員会運営費	100,000		
(2) 概要刊行費	70,000		
6. 予備費	1,410,000		
7. 繰越金	-		
	合 計	10,030,000	

学 会 基 金

収入の部	基本金	4,300,000	支出の部	基本金	4,300,000	備考
	前年度繰越金	434,901		日本中国学会賞	80,000	
普通預金利息	25,000	次年度繰越金	384,901			
信託収益金	5,000					
	合 計	464,901		合 計	464,901	積立基金 3,000,000

平成10年度 文部省科学研究費採択状況一覧

特定領域研究(A)

西夏語漢語対訳語彙集『番漢合時掌中珠』のコンピュータ処理のための基礎的研究(130冊)

池田 巧(立教大学)

基盤研究(A) 一般(継続)

中洲三島毅の学問・思想・文芸と生涯に関する研究(60冊)

戸川芳郎(二松学舎大学)

中国における文学史観の形成と展開(270冊)

川合康三(京都大学)

中国における言語地理と人文・自然地理(300冊)

遠藤光暁(青山学院大学)

基盤研究(B) 一般(新規)

中国における通俗文学の発展及びその影響(560冊)

小南一郎(京都大学)

基盤研究(B) 一般(継続)

道教内丹学の形成と展開についての語彙および図像論的研究(60冊)

蜂屋邦夫(東京大学東洋文化研究所)

近代中国思想における西洋思想諸概念の受容に関する総合研究(190冊)

有田和夫(東洋大学)

伊藤仁斎・東涯の諸稿本に関する総合的研究(110冊)

土田健次郎(早稲田大学)

四川省成都盆地における巴蜀文化の研究(210冊)

工藤元男(早稲田大学)

基盤研究(C) 一般(新規)

宋代道教思想史研究(120冊)

砂山 稔(岩手大学)

唐宋士大夫思想における三教交渉(70冊)

中嶋隆藏(東北大学)

清末・民国期知識人におけるナショナル・アイデンティティ形成とジェンダーの関係(160冊)

坂元ひろ子(東京都立大学)

西夏文字資料による中国近世語史研究の可能性に関する基礎的研究(100冊)

大塚秀明(筑波大学)

上海刊行の「石印鼓詞」と小説、宗教儀礼・宗教演劇のかかわりに関する研究(130冊)

大塚秀高(埼玉大学)

唐代文学の研究—特に詞の源流に関して—(50冊)

戸倉英美(東京大学)

現代中国文学と「諷刺」に関する研究(120冊)

弓削俊洋(愛媛大学)

北宋古文運動と科挙制度に関する研究(140冊)

東 英寿(鹿児島大学)

四庫全書宋人文書提要に関する実証的研究(230冊)

笥 文生(立命館大学)

基盤研究(C) 企画調査

東アジア出版文化史の研究をめぐる企画調査(310冊)

磯部 彰(東北大学)

基盤研究(C) 一般(継続)

1860年代中国の西洋認識と斌椿使節団に関する研究(30冊)

手代木有兒(福島大学)

啖助・趙匡・陸淳らを中心とする唐代春秋学の基礎的研究(60冊)

齋木哲郎(鳴門教育大学)

明清時期における女性史関連資料及び女性教導資料についての基礎的研究(80冊)

下見隆雄(広島大学)

春秋正義の基礎的研究(50冊)

野間文史(広島大学)

古代中国における五惑星と政治的予言の研究—科学としての天文学と社会思想史との接点(60冊)

串田久治(愛媛大学)

明治期における「東洋哲学」研究について (50冊) 大島 晃 (上智大学)
 近代中国における子ども観の社会史的考察：子ども・家族・社会 (50冊) 湯山トミ子 (成蹊大学)
 朝鮮版「文選」の総合的研究 (70冊) 磯部 彰 (東北大学)
 「民間」芸術の再生を中心とした中国前衛芸術の研究 (50冊) 牧 陽一 (埼玉大学)
 戦前期台湾作家の東京留学体験に関する系譜的研究 (60冊) 藤井省三 (東京大学)
 中国語のディスコースに関する基礎的研究 (50冊) 今井敬子 (静岡大学)
 中国女性文学に関する研究 (50冊) 西村富美子 (三重大学)
 「文革期文学」の基礎的研究 (50冊) 岩佐晶暉 (九州大学)
 中国訓話学関係論文目録と重要文献解説集の作成 (10冊) 福清正博 (明治大学)
 近代中国都市芸能に関する基礎的研究 (50冊) 岡崎由美 (早稲田大学)
 中国煙粉小説の受容に見る情愛観の比較研究 (80冊) 磯部祐子 (高岡短期大学)

萌芽的研究 (新規)

漢代より唐代に至る地方志書の思想史的研究 (130冊) 薄井俊二 (埼玉大学)
 中国、朝鮮、日本における孝子説話の総合的研究 (60冊) 金 文京 (京都大学人文科学研究所)

萌芽的研究 (継続)

中国伝統文化において経学的歴史観の果たした文化統合的役割についての研究 (50冊) 関口 順 (埼玉大学)
 1930年代日本における中国人留学生の文学・芸術運動に関する基礎的研究 (50冊) 小谷一郎 (埼玉大学)

奨励研究 (A) (新規)

近代中国における「生活の芸術」論—周作人、林語堂、江紹原らによる提唱とその展開 (70冊) 伊藤徳也 (東京大学)
 元代における「三国物語」と『三国志演義』の成立 (110冊) 中川 諭 (新潟大学)
 『山海経』の成立と流伝に関する基礎研究 (50冊) 大野圭介 (富山大学)
 植民地時代に台湾総督府が編纂した「日台大辞典」と「新訂日台大辞典」の比較研究 (130冊) 王 順隆 (文教大学)
 文体の変遷からみた木魚書の性質について (120冊) 稲葉明子 (早稲田大学)
 新発見の秦代封泥についての文字学的研究—“漢字形成史研究”のために— (80冊) 高久由美 (県立新潟女子短期大学)

奨励研究 (A) (継続)

前漢における儒教の国教化と『論語』の伝承・解釈に関する研究 (50冊) 弐和順 (北海道大学)
 宋代における「公共教育」に関する研究 (50冊) 名畑嘉則 (藤女子大学)
 日本の近世における老荘思想の受容と展開に関する研究 (80冊) 大野 出 (帯広大谷短期大学)
 五四時期の副刊 (新聞文芸欄) に関する社会文化史的研究—『京報副刊』を中心に— (70冊) 清水賢一郎 (北海道大学)
 『五代史平話』『宣和遺事』における口語語彙・文法研究及び成立年代推定 (50冊) 渡辺浩司 (北海道大学)
 清末民初の言語変革に関する文体論的研究 (80冊) 中里美 敬 (東北大学)
 「香港文学」の整理とその位置付けのための基礎的研究 (50冊) 西野由希子 (茨城大学)
 西番訳語の言語地理学的分析 (80冊) 池田 巧 (立教大学)

共同研究（新規）

中国小説・戯曲の発展史における遊民の役割に関する研究（380冊）
魯迅書信（原信）の総合解析（180冊）

磯部 彰（東北大学）
阿部幸夫（実践女子大学）

研究成果公開促進費

学術定期刊行物

日本中国學會報（49冊）

日本中国学会

一般学術図書

近代中国思想史論（50冊）
六朝道教思想の研究（230冊）
五経正義の研究（160冊）
朱子理気論の地域的特性（60冊）
訓説説文解字注（510冊）
転換期における中国の知識人（80冊）
文選李善注の研究（150冊）

有田和夫（東洋大学）
神塚淑子（名古屋大学）
野間文史（広島大学）
魯 学海（延辺大学）
尾崎雄二郎
小谷一郎（埼玉大学）
富永一登（広島大学）

データベース

東洋文化研究所所蔵漢籍目録データベース（C. C. C）（1433冊）

東京大学東洋文化研究所漢籍目録データベース作成グループ
代表 濱下武志

金沢大学附属図書館所蔵古写本・版本データベース（kanazawa）（242冊）

金沢大学附属図書館所蔵古写本・版本データベース作成委員会
委員長 杉本卓洲

電子漢字（eKanji）（949冊）

電子漢字研究会
代表 勝村哲也

東洋学総合情報システム（CISAS）（939冊）

東洋文庫電算化委員会
代表 北村 甫